

# 住宅管理課・地区協「3ヶ月滞納で追い出しは当たり前や」と公言

33棟 2月21日 説明会

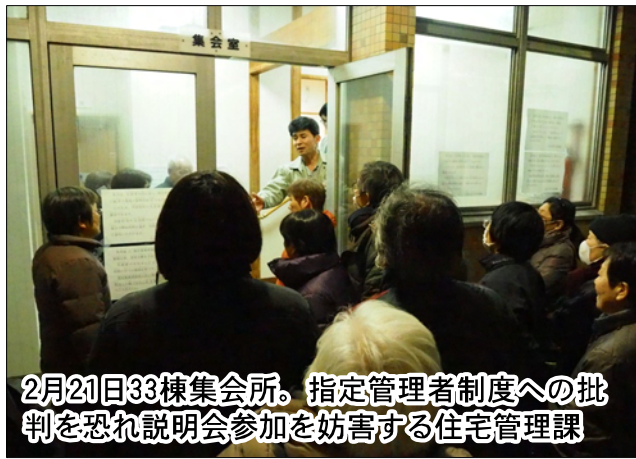
# 追い出しは絶対許さん!

## 33棟説明会に90名が参加

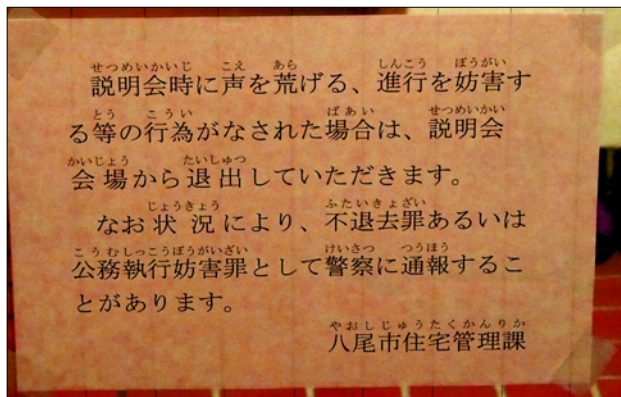
2月21日、33棟で行われた指定管理者説明会において、八尾市と地区協が仕組んだ有無を言わせず指定管理者を認めさせる企みを完全に粉砕しました。説明会は、参加者を制限し、地区協が住民を威圧し、質問も意見も言わせないとんでもない説明会として行われようとしていました。勝手に住宅のことを決めさせない!指定管理者導入に対する怒りを持った90名を超える住民が決起しました(住民の怒りを甘く見た住管は資料をちよつとしか用意せず、あつという間になくなった)私たちは、住管の妨害を跳ね返し、末光院長と久原全国水平同盟西郡支部長を代表として送り込み、住民と一つになって闘った。

「自由に質問や意見を言わせないで何が説明会や」、「こんな説明会やない!」

参加した住民の率直なこの感想こそ八尾市と地区協の目論見を破産させています。



2月21日33棟集会所。指定管理者制度への批判を恐れ説明会参加を妨害する住宅管理課



会場の外には、八尾市住宅管理課名でチラシ(写真左下)をはって、住民を威圧し、全国水平同盟西郡支部員や八尾北労組員が説明会に入ることを妨害してきました。しかし西郡支部、八尾北労組、市営住宅住民が猛烈な抗議を行い、代表二名が会場に入りました。

## 指定管理者は住民の追い出しとはっきりした

最初に口火を切ったのは地区協です。

地区協「ハッキリ言うたつてな。民間になったら、指定管理者なつたら、家賃ドンドンあがる。ほんで、3カ月たつたら、家賃滞納したらな、出ていかなあきませんで、あきまへんで言うてな、そんなもん、どこへ入つたかてな、家賃滞納したら、出ていくの当たり前話やろ。」

住宅管理課「当り前の話です」

住宅管理課岩本次長「3ヶ月滞納したら出ていかなあかん、原則、当たり前話です。当然やないですか」

「三ヶ月家賃を滞納したら住民追い出しは当たり前」、これを地区協に言わせ住管が答え、住民の追い出しを正当化しようとしている。

12月議会で指定管理者制度導入の賛成討論を行い、住民の追い出しの先頭に起っているのが吉村拓哉議員だ。

「指定管理者に市営住宅の管理運営を委ねることにより、行政は、入居者の決定や家賃の決定、



全国水平同盟西郡支部  
八尾北医療センター労組  
関西合同労組大阪東部支部

全国水平同盟に入ろう  
連絡先: 八尾市高砂町3-85-6  
電話・FAX: 072-991-7729  
ブログ <http://nisigoorisibu.cocolog-nifty.com/blog/>  
Eメール: zensuidoumei@yahoo.co.jp 2016/11/23発行

滞納家賃に係る法的措置などといった、本来あるべき業務に専念できる」

から賛成だと言っているのです。許しがたい発言だ！住管は、「滞納家賃にかかると法的措置」即ち「滞納家賃の取り立て、追い出し」が本来の業務だとい、それに専念できるから賛成と言っている。滞納せざる得ない西郡住民の生活の苦しみに身を置かず切り棄て、もつと追い出しをやれ、と住管をけしかけている、これが地区協推薦の議員の正体です。住管の本来業務は、住民同士がつながり、安心して暮らす事ができるようにすることだ。徹底弾劾しよう！

### ■住民の追い出し絶対許さない

全国水平同盟が団地を回ったとき、「私は病気で働かず家賃を滞納することがあった。家賃滞納三ヶ月で追い出すなんてとんでもない。住宅追い出しは死ねということや」という住民の怒りの声を聞いた。

この住民の怒りの声を引き受け、久原全国水平同盟西郡支部長が追及に立ち上がった。

久原「この住宅はみんなが住める

ように運動して建てた住宅だ。みんなが住めるように立ち退きにも協力して建てた住宅だ。八尾市はそういうこともあってみんなが住めるように協力すべきだ。民間の会社に任せるのはおかしい。問答無用の追い出しは許せない」

住宅は、みんなが助け合いながら生活していく共同体です。だからこれまで住民は、住民の闘いの歴史と、住民のつながり、団結、コミュニティに守られ、三ヶ月滞納したって追い出されることはなかったのです。この西郡住民の絆を、地区協自ら住管の手先となつて破壊しようとしているのです。絶対に許せません。

### ■東急コミュニティーに任すことはできない！民営化反対！

久原「東急コミュニティーは府営高砂住宅に入っている。高砂住民からは、管理と言っても週2日詰めているだけ。修理もすぐにやってくれない、と聞いた」「ちよと手続きが遅れただけですぐに近傍同種の最高家賃の催告書が送られてきて、家賃滞納3ヶ月で追い出しが始まっている」

「民間の会社は金もうけが目的だ、東急コミュニティーはブラック企業

東急コミュニティーは職員が横領事件を起こし自治体の入札資格停止を受けたこともある問題企業だ。末光院長は、東急コミュニティーの実態を追及末光「なぜ指定管理者にしたのか聞きたい」「サービスが変わらず3千万円の経費削減するというが、東急コミュニティーは、正社員の数は何人なのか」「請負会社が非正規ばかり使い、サービス低下は明かや」

住管は、質問が指定管理者の核心に触れるために、質問に答えず、地区協は八尾市に助け船を出し、「もうかえろ」と質問を打ち切ったのでした。

### ■住管「家賃は変わらない」はウソ！減免打ち切り許すな

- 八尾市の指定管理者説明会日程
④ 2月25日(土) 午後7時～ 西郡第3集会所
⑤ 2月26日(日) 午前10時～ 西郡第3集会所



2月19日桂人権コミュニティセンターで勝ちとられた第4回西郡支部大会

この指定管理者導入の一環として家賃の見直しが行われ、家賃が値上がりし倍なった人もいます。許せません。

生活が苦しくて家賃を分納で払ってきた人や、かつて応能応益家賃制度に反対して闘って来たが心ならずも供託を降り分納をしてきた人たちなどに対して、これまで減免を認めてきたにもかかわらず、指定管理者導入に合わせ減免打ち切りを言ってきています。これまで認めていたのに、なぜ認めないのか！これも指定管理者制度導入の一環で、住民を追い出しにかかっているのです。絶対に認められません。みんな団結し家賃値上げをはね返そう。

### ■健康教室の33棟使用禁止許すな

2月24日33棟集会所で予定していた八尾北の「健康教室」を、「路上駐車が増える、たくさんの方が集まったら住民に迷惑がかかる」という理由をこじつけ、住管は集会所を貸さないと断ってきた。八尾北労組を軸に住民が団結することを恐れた暴挙です。絶対に許しません。使用禁止を弾劾しよう。住宅追い出し反対！家賃値上げ反対！ムラの団結をバラバラにする指定管理者反対！みんなで説明会に参加しよう。